

爭議團の陣容

(1) 竹籠城

會社の切崩しに具へ 爭議團員の結束をより堅くするの必要上から 野田労働学校 野田劇場の二ヶ所を集合所として 全員籠城してゐる。食事は全部爭議團に於て賄ひ 團員は数日に一回宛 帰宅せしめてゐる。従つて結束は一糸乱れぬ堅固さを示してゐる。只遺憾なところは、監督 工場長等の固戚関係者が少数数裏切つたが、其方は一般團員の士気が喪失し 或は本部の動搖を來すが如きことは毫末もなない。

(2) 爭議團の編成

爭議團は左記の如く編成し、最も敏活に活動してゐる。1. 防備部 || 會社は數百名の暴力團を使用してゐる為

に防備隊を以て之に當らしむ。又其他各部隊との連絡をなす。2. 連絡部 || 又其他各部隊との連絡をなす。3. 偵察隊 || 組合員の一切の言動を監視する。4. 訪問隊 || 爭議團員の家族を訪問して之を慰問する。5. 特別調査部 || 爭議に直接関係の諸種の調査。6. 宣傳部 || 専ら宣傳に従ふ。尚此外に前掲同志會ありて本部に直屬し活動してゐる。

會社の態度と政策

(1) 典型的頽退

會社の態度は頽退の典型とも云ふべきもので、而も爭議の非常に進展した今日、全くの無能策を暴露し、事態の收拾をも為し得ないが、只逸ニ然ハ押つけし